63 期生

２年生学年だより

豊中市立第五中学校　2015 年 12 月 11 日(金)　No.28

人権フェスタひまわりがありました

人権について学んできたことを、クラスや学年、そして学校全体で共有し、さらに一人一人が夢バトンについて考えるきっかけをつくるための発表会「人権フェスタひまわり」が今年も行われました。

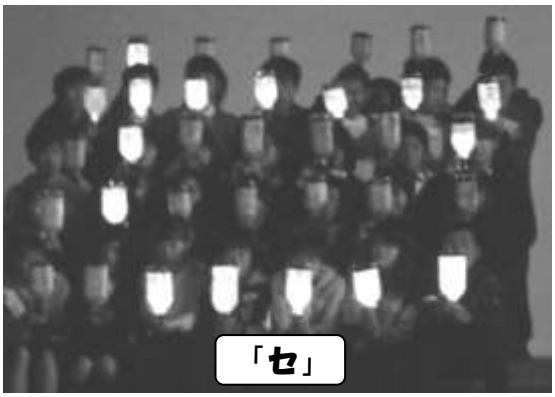
生徒会執行部が司会を担当！

１年生は去年のみなさんと同じようにスライドの発表と「未来につなげる夢バトン」の歌でした。「はみごをなくそう、つながりあおう」という気持ちと行動を表現した“夢バトン”の歌ですが、53 期生から続く夢バトンがこうして今年も次の学年へとつながっていきました。

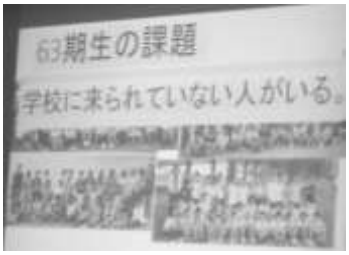
練習中

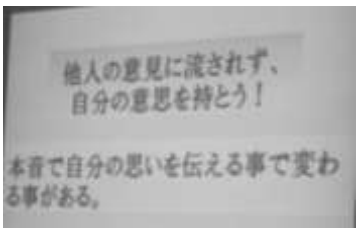
みなさん２年生は、湖畔委員さんを中心に集まって練習をした光の文字の披露と、１学期から行ってきた様々な学習のスライドの発表でした。

「63 キセイノコレマデトコレカラ」という光の文字を、湖畔学舎で使った行燈（あんどん）を持ち寄り舞台の上に表現しました。全員が前に立ったわけではなかったのですが、文字と共に座っている人たちで掛け声を出し、２年生が一体となって光の文字の表現に挑みました。



湖畔学舎のスローガン
行灯（あんどん）による
メッセージ・ライト





放送も頑張ってくれました。

３年生は「群読（ぐんどく）」でした。

「62 期宣言」一部　　～62 期生にとっての夢バトン～

五中で大切にしてきた夢バトン。はみごをなくすために大切にしたいことを私たちなりに考えました。

思いやりの心を持つ。みんなが笑顔でいること。はみごをなくすということは絆を深めるということ。周りの支えがあって今の自分。あいさつは心を交わした証拠。あいさつを大切に。周りの仲間をはみごにしないという決意を全員がもつ。個人を尊重する。誰一人仲間はずれや不登校がないよう、仲の良いクラス・学年・五中をつくる。夢を大切に。みんなで協力し合う。楽しいことばかりではなく、しんどい事も一緒にのりきろう。仲間との時間を大切にすごす。ただしゃべるだけの友達ではなく、思っていることを素直に言い合える、助け合える友達を大切にしよう。

1.2 年生のみなさん、地域のみなさん、保護者のみなさん、あと少しですが、62 期生のことをよろしくお願いします。

大変迫力のある群読の発表でした。３年生の決意が感じられる言葉と声に、１年生も２年生も圧倒されたのではないでしょうか。

全ての発表が終わり、１年生にも、２年生にも、そして３年生にも成果と課題があるということが分かりました。校長先生や、ゲストの先生方が言っていました。「『一人一人の人権を大切にする』『相手の気持ちを考えて行動する』『自分がされて嫌なことは人にしない』など、こうしたことはあたりまえのことですが、大人でも苦戦するし、難しい時もある。相手の気持ちに気付くことができるというのはとてもすごいことだ。」と語ってくださいました。みなさんも、自分自身のこととして目と耳と心でこれらの言葉をしっかりと受け止め、53 期生から 11 年続く夢バトンをどうつないでいくのか、言葉だけに終わらない“中身のあるもの”を目指していきましょう。